

食物栄養学専攻（修士課程）

令和8年4月公表

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）			教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）			入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）		
<p>武庫川女子大学大学院食物栄養科学研究科食物栄養学専攻修士課程では、本学の定める修業年限以上在学し、各コースが定める履修方法に従って30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験を受け、「MUKOGAWA COMPASS」に基づく本専攻が掲げる次の資質・能力を身につけたうえで、論文審査および試験に合格した者に対して、課程修了を認定し修士（食物栄養学）の学位を授与します。</p>			<p>武庫川女子大学大学院食物栄養科学研究科食物栄養学専攻修士課程では、本専攻の定めるディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を達成するために、次のような方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>1.「健康栄養科学コース」および「実践管理栄養コース」の2つのコースに分かれる教育課程を編成します。</p> <p>2.健康栄養科学コースでは、公衆衛生学や予防医学の理念および疫学の方法論を重視し、主に栄養分野の調査・事業の企画・評価・教育（食育）などに関する専門知識と技術を学び、官公庁・教育機関・民間機関などにおいて、集団レベルの栄養指導法、健康管理システムの構築などの身体活動面の改善に貢献できる実務と研究の両面に精通した人材を育成するための科目を設置します。また栄養教諭の教員免許状（一種）を有する者には、専修の教員免許の取得のための科目を設置します。</p> <p>3.実践管理栄養コースでは、管理栄養士の免許を有する者を対象に、研修病院等との連携のもとで、1年間の臨地実習を通して、NST（栄養サポートチーム）や栄養指導に関する能力を育成し、保健医療分野におけるシステムの構築や新しい栄養指導法の開発、妥当性の検証など、資質の高い実践的な専門家、研究者を育成するための科目を設置します。</p> <p>4.人々の健康実現を科学的にサポートするため、初年時には栄養疫学、生物統計学を必修科目として配置します。</p> <p>5.教育課程全般を通じて科目教員と大学院生による対話形式での授業を展開し、論文指導担当教員と大学院生が直話し修士論文を作成するため、論文指導、特別実験、特別実習を設置します。</p> <p>6.教育課程の評価については、多領域の教員から指導を受けられる機会（全教員参加の下での中間発表会・修士論文発表会）を設置します。</p> <p>7.標準修業年限を超えて履修することができる長期履修学生制度により、修学上の多様なニーズにも配慮します。</p>			<p>武庫川女子大学大学院食物栄養科学研究科食物栄養学専攻修士課程では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本専攻のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本専攻のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する人の入学を受け入れます。</p>		
<p><b>武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素（知識・姿勢・行動）および8項目</b></p>			<p><b>MUKOGAWA COMPASSに対応するディプロマ・ポリシーの項目</b></p>			<p><b>武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素</b></p>		
知識	1	多様化・複雑化する社会を理解する力	1	幅広い教養と共に、言語能力や基礎的情報リテラシーなど、汎用的能力を身につけている。	知識	社会を理解し、食物栄養学に関する高度な研究能力を身につけるために必要な基礎学力を有している。		
	2	“生きること”につながる専門性	2	研究者として、個人や集団を対象とする栄養学、食べ物と健康との関係について、高度な専門的知識と技能を身につけている。		自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。		
姿勢	3	自他を尊重する姿勢	3	自ら存在価値を認め、栄養学に関わる熱意と責任感をもって研究を実施できる。食・栄養を通して人々の健康の維持増進・疾病予防、治療に貢献する。	姿勢	食から健康を追求することによって社会に貢献しようとする意欲を有している。		
	4	失敗を恐れず挑戦する姿勢	4	栄養学に関する研究者として自立して研究活動を行う、あるいは専門的業務に従事するために研究し続ける姿勢を身につけている。		自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。		
	5	逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	5	日々発展、進歩する健康栄養問題を解決するしなやかな姿勢を身につけている。		①「食と健康」のより良い関係を理解するための基礎・応用研究を進め、研究開発者や栄養情報担当者などとして活躍しようとする者、②臨床や福祉の現場で管理栄養士として実践的な活躍をしようとする者、③予防医学・予防栄養学を基盤とし、「食育」を含めた集団レベルでの健康増進のあり方を研究しようとする者、④栄養教諭専修免許状取得を目指し、教育現場においてリーダーシップを発揮して活躍しようとする者など、さまざまな分野で社会に貢献しようという意志を持っている。		
行動	6	論理的に考え伝える力	6	科学的根拠に基づく健康・栄養課題解決のために、健康や栄養・食に関する高度かつ専門的な情報を自ら収集し、発表する能力を身につけている。	行動			
	7	新たな価値を創造する力	7	国際的視野に基づいて、自ら課題を見つけ、解決するための研究デザインを構築する能力を身につけている。				
	8	多様な人々と協働する力	8	病院、福祉施設、企業、行政等の組織において、指導者として必要なコミュニケーション能力を身につけている。				